

■中国：2013年の電力需要、前年比6.5%増と予測

2012年12月7日付地元紙メディアによると、国家能源局は2013年のエネルギー需給状況に関する予測を明らかにした。2013年の石炭消費量は前年比4.5%増で、輸入量はやや減少する。石油製品の年間消費量は同6.6%増の2.53億トン、天然ガスの年間消費量は同6.7%増の1,600億m³で、その内、輸入量は500億m³。発電設備の利用時間は平均4,600時間で、2012年よりやや多くなるとしている。新規運開する発電設備の容量は約8,500万kWで、その内、火力は4,000万kW。また、新エネ発電設備容量については、原子力発電設備500万kW、風力1,500万kW、太陽光発電600万kW、バイオマス発電は100万kWを見込んでいる。消費電力量の増加率は前年比6.5%増で、中国電力企業連合会の予測値である同5%を上回っている。